



特定術式における

手術開始前1時間以内の予防的抗菌薬投与率

<項目解説>

手術によって手術部位感染（SSI）が発生した場合、術後の入院が長期化するとともに、医療費が増大することが明らかになっています。SSIを予防する対策の1つとして手術前の抗菌薬投与があり、国内外のガイドラインにおいても、手術開始前1時間以内での投与が推奨されています。

<当院の実績>

【平成25年度】	83.8%	(166/198)
【平成26年度】	87.3%	(172/197)
【平成27年度】	87.7%	(143/163)
【平成28年度】	85.8%	(139/162)
【平成29年度】	92.7%	(367/396)

<当院の自己点検評価>

平成24年度より新たに算出した項目です。今後は、他施設とのベンチマークや術式ごとの検証を実施していきたいと考えています。

<定義>

- ・特定術式 ～ 冠動脈バイパス手術、そのほかの心臓手術、股関節人工骨頭置換術、膝関節置換術、血管手術、大腸手術、子宮全摘除術

※日本病院会QIプロジェクトの定義に準拠

<算式>

分子：手術開始前1時間以内に予防的抗菌薬が投与された手術件数

分母：特定術式の手術件数